

第 37 卷 PDF 読本



成田線（松岸～香取～成田～佐倉）

我孫子支線 成田線（成田空港～成田）

鹿島線（鹿島神宮～香取） 鹿島臨海鐵道（鹿島神宮～水戸）

銚子電鉄（外川～銚子）

2024年11月2日 歩く鉄道作家 檜原 勉

<目次>

はじめに

第1章 成田線（松岸～佐倉）	・ ・ ・ ・ 5
第2章 成田線（我孫子支線：成田～我孫子）	・ ・ ・ 18
第3章 成田線（成田～成田空港）	・ ・ ・ ・ ・ 22
第4章 鹿島線（鹿島神宮～香取）	・ ・ ・ ・ ・ 27
第5章 鹿島臨海鉄道（水戸～鹿島神宮）	・ ・ ・ ・ 31
第6章 銚子電鉄（銚子～外川）	・ ・ ・ ・ ・ 42

成田線（松岸～久住：75.4 km）

成田線（成田～我孫子：32.9 km）

成田線（成田～成田空港：10.8 km）

鹿島線（鹿島神宮～香取：15.6 km）

鹿島臨海鉄道（大洗鹿島線；56.2 km）

鹿島線（鹿島神宮～鹿島サッカースタジアム：3.2 km）は鹿島臨海鉄道に含めた

銚子電鉄（銚子電気鉄道：6.4 km）

総営業キロ 197.3 km

はじめに

本著書はデジタル形態のシリーズもので、「こだわり鉄道つたい歩き」よる PDF 読本旅日記の手記記録です。これまでの 5 巻（うち 2 巻は書籍）については、稚内から鹿児島までの日本縦断の旅について描いたもので、お陰様で執筆が完了しました。

引き続き、第 6 巻目からは、“日本横断歩き鉄の旅”について連載しています。第 32 弾目として、総武本線や常磐線に接続する、千葉県・茨城県を走る、成田線・鹿島線・鹿島臨海鉄道・銚子電鉄の旅（総営業キロ 197.3 km）について執筆させて頂きました。

本作品はカッシー館にある榎原勉文庫拡充で閲覧可能です。また、国立国会図書館でご承認を得れば、通算 46 作目の著書として国立国会図書館でも閲覧できます。

(2002 年 4 月～2013 年 7 月で踏破)

こだわり鉄道つたい歩きとは、カッシー館でもご紹介している通り、九ヶ条から構成されます。

1. ウォークマンを聴きながら一人歩きを楽しむ
2. “鉄道案内人”に従って各駅を踏破する
3. メモや写真をとりながら筋書きのないドラマを楽しむ
4. 必殺仕事人の心境で歩く
5. 出発点は先憂後楽の考えに基づき決める
6. 歩く鉄道営業キロは季節を考慮して決める
7. 活動記録をとっている
8. 青春 18 きっぷを極力活用する
9. 東横インを極力活用する

<ご参考>

本著書に登場する駅舎は、“日本横断歩き鉄の旅“PDF 読本シリーズ中、カッシー館のブログに登場する「樫原勉文庫拡充」にて、次のPDF 読本からダイジェスト版でもご閲覧頂けます。

第19編（日本横断歩き鉄の旅）

成田線・鹿島線・東金線



成田山新勝寺

2021年6月14日 樫原 勉

第16編（日本横断歩き鉄の旅）

第三セクター鉄道

天竜浜名湖鉄道（旧二俣線）・いすみ鉄道（旧本原線）・真岡鐵道（旧真岡線）・わたらせ渓谷鐵道（旧尾尾線）・鹿島臨海鐵道（旧鹿島線）



天竜二俣駅

2021年5月5日 樫原 勉

第37編（日本横断歩き鉄の旅）

富士急行・関東鉄道 小湊鉄道・銚子電鉄・流鉄



大月駅

2022年1月18日 歩く鉄道作家 樫原 勉

第1章 成田線

第1節 5月10日(土)：椎柴～水郷 晴れ

松岸(?)～椎柴(10:11)～下総豊里(?)～下総橘(12:35)～笹川(14:25)～
小見川(おみがわ、16:00)～水郷(17:35)

※銚子～松岸～椎柴は、2002年4月6日(土)銚子電鉄の踏破の際、立ち寄り済み。
それ故、成田線のスタートは、松岸駅からではなく椎柴駅とした。



※松岸駅

第89回目のウォーキングは、2003年5月10日(土)、天気の中、椎柴(しいしば)～水郷間の23.5Kmの挑戦となった。本年のウォーキングは仕事、家事都合、天候等で回数が進まず、これまでの3年間のウォーキングの中で、まだ7回目とスローペースとなった。昨日は高校同窓会の幹事会があり、帰宅が深夜12時半を過ぎていた。本日を外しては、第7回目のウォーキング日がいつ到来するかわからず、また、今年目標の「通算2,000Km走破」に赤信号がつく恐れもあり、多少体調不良にもかかわらず挑戦することとした。それ故、眠り眼の中4時半に起床して南林間6時5分の電車に間に合うよう準備する。運良く、2～3週間前に今回のコースの時刻表を調べていたので、その分準備を省力化することができた。子供が自転車を使用する関係で駅まで徒歩を余儀なくされ、準備時間に15分程度多く要した。

家を17時40分頃出、南林間駅に向う。南林間6時5分、新宿7時00分、千葉8時19分の電車で椎柴駅を目指す。佐倉から椎柴までの風景は、生まれて初めてであったので、多少眠かったが、窓から見えて来る風景をウォッチするよう努めた。途中、佐倉駅で特急通過のため、また成田駅で上り電車と離合のため10分程度待たされた。成田駅に着くや否や、水戸線と同じような電車が我孫子方面からやって来た。成田駅を過ぎた中で、佐原(さわら)駅が最も賑やかな感じがした。香取駅からは鹿島線への線路

があった。小見川（おみかわ）でも9時52分離合があった。成田回りは滑川駅から銚子駅にかけ鉄道が利根川に沿って走っている。地図で確認したところ「利根水郷ライン」とあった。

今日は5月連休あけの初めての土曜日ということもあり、利根水郷沿線から見えて来る田園は、田植えが90%位は終えていた。恐らく先週のゴールデンウィークに田植えをしたのだろう。私も先週は香川の実家に帰り、田植え（5月5日）を手伝ってきた関係で、その当りの事情はよく理解できる。私の子供の頃は、田植えは6月下旬頃であった。最近では、少なくとも50日位日程が早まっている。当時の今頃は麦が青々と茂り、雲雀がその近郊をピイチクパーチクと囀り、空と地面を往復する長閑な風景であった。数十年間の歳月で田園風景も変わったものである。

椎柴には10時11分到着。1年前に八街回りで猿田駅への途中、この駅を通過したので、椎柴駅は2度目であった。駅の建物が青い感じのする無人駅という印象が強く残っていたので、下車の際の精算をなくするため、車中で浅草橋駅から椎柴駅迄の乗車券（2,210円）を買う。椎柴駅前にわらぶきの神社「新宮大神」が目に入り記念写真を撮る。この神社は1560年正親町（おおぎまち）天皇時代に海上氏により建てられた旨の説明があった。10時40分銚子市立椎柴小学校を通過する。この近郊で苺農園と牛の酪農風景を見かける。苺園を見ると、両親が故郷で、現役で頑張っている姿が如実に思い出された。この前の連休に帰った時も、働き尽くめの両親は田植えの傍ら苺の出荷で忙しくしていた。一方、牛を見ると、私が小学校から中学校にかけ、両親が牛の乳を搾っていたのが昨日のように思い出されて来る。故郷を思い出しながら歩いていると、農家の子犬が2匹私のところに寄って来る。



※椎柴駅、下総豊里駅への路

進行方向に向かい右手の方向に利根水郷ラインが目に入って来たので、利根川岸に近づき記念写真を撮ることとする。小船があった。向こう岸まで500m位はある感じであ

った。途中、たて看板で「あいさつは友達をつくる第一歩（椎柴小学校6年安藤耕平君）」の標語が目につく。下総豊郷駅は通り過ぎ、残念ながらクリアできず。東庄町に入って間もなく歩くと下総橋駅（12時35分）があった。



※下総豊里駅、下総橋駅

笹川駅の途中で蕎麦屋「伝兵衛」（東庄町新宿）があったので、ここで13時10分から30分程度、昼食タイムとする。フライそば定食を注文したところ、ボリュームがあるのにびっくりした。笹川駅には14時25分到着する。この駅で記念写真を撮り立ち去ろうとしたところ、60歳位の年配のタクシードライバーに声を掛けられ対応する。きっかけは、ベルト付きの「ウォーキングケース」が珍しくて質問がしたかったらしい。主な質問は、「ケースは電気屋にあるの。どんな音楽を聴いているの。どこから来たの。」「電気屋で売っています。昔のフォークが中心です。神奈川から来ました。」等の応対をする。「頑張って下さい。」の励ましの言葉でこの場を後にする。



※笹川駅、笹川駅への路

利根水郷ラインに沿って歩き、第二佐原銚子街道踏切と佐原銚子街道踏切を横切る。この関係でJR線が左手から右手になる。これらの踏切を渡ろうとした時、2度踏切遮断機が下りてくる。最初の踏切は14時40分で千葉行き電車、2回目は15時25分で銚子行き電車である。1時間に1本位しかないダイヤから判断すれば、珍しい場面を

見せてもらった。小見川駅近郊で数十人の女学生のグループと出会い駅が近いことを感じた。駅への案内看板は見当たらなかったが、なんとなく左手方向が駅と思い、確認のため道路工事をしている人に聞く。予想通り駅前だった。この駅には16時丁度に着く。

今日は当初の目標は水郷駅であったが、水郷までの営業距離しか調べていなかったの
で、時間の関係で香取駅への延長挑戦もあるので、小見川駅員に水郷から香取駅までの
営業距離を聞く。3.9Kmと予測通りの回答であった。というのは、水郷駅を17時
44分後は19時7分になり、水郷駅の到着の如何によっては、香取への挑戦も考えた
からである。17時30分前に到着するのであれば、香取まで挑戦するプランで臨もうと
考えていた。



※小見川駅、小見川駅への路

小見川駅をクリアして少し道に迷った関係で10分程度ロスした関係で、水郷駅には
17時35分の到着となった。水郷駅は駅名でイメージする通り、オランダ風の建物で印
象的であった。途中、予定時間の17時15分が来ても水郷駅が全然見えてこないの
で、17時44分の電車には乗れないのではないかと心配になってきた。それで不安になり、
中学生位の少年に聞くことにする。水郷駅まで2Km位あると回答があったが、恐らく
この回答は間違いであろうと思った。案の定、私の物差しが正しく残り1Kmの距離だ
った。



※水郷駅 (カッシー館トップ12枚画面のひとつ)

水郷駅 17 時 44 分の電車で家路に向う。運良く千葉駅で 19 時 12 分の久里浜行きの快速に間に合う。新宿からは藤沢行きの急行 20 時 20 分に乗り、自宅に到着は 21 時 25 分となった。万歩計は 51,553 歩をマークした。今日は久しぶりのウォーキングで充実した一日となった。おまけに昨日は 5 - 0 から 8 回、9 回に 7 点も取られ中日に逆転負けを喫したが、今日は木佐貫が頑張り 10 対 2 で完投したので気分も倍増した。清原の 3 ランが効いたゲームであった。

第 2 節 5 月 24 日 (土) : 水郷～久住 晴れ

水郷(9:44)～香取(10:45)～佐原(12:45)～木戸(13:57)～下総神崎(15:08)～滑河)16:55)～久住(18:18)



※香取駅への路、香取駅

90 回目のウォーキングは、先週の鎌倉－江の島のハイキングを挟み、2003 年 5 月 24 日 (土) となった。今日は五月晴れとまではいかなかったが、久日ぶりの天気で、絶好のウォーキング日となった。昨日はアクチュアリー会の研修で自宅に帰る時間が早く、体調万全で今日の水郷－久住 (くずみ) 27.5Km の挑戦に臨むことができた。4 時半に起床し、南林間 6 時 5 分の電車に間に合うよう準備をした。前回同様なダイヤで水郷を目指した。本日の水郷駅も先日の椎柴駅と同様無人駅であり、大戸駅を出たところで、自ら切符 (浅草橋から 1,890 円) を買い求めた。

今日のコースは、前回の窓から見た限り、成田から滑河にかけて小高い山間があり、JR 線に沿った道がなかった。それで、本日のウォーキングを効率的に展開するため、JR 線から見える風景を注意深く観察する。2 週間の月日で、稲も少し青々として来ていた。同時に麦も黄金色になりつつあった。私の幼少時代には、稲と麦が同時に見えるような光景はあり得なかった。

水郷駅には9時44分に到着。下りホームから上りホームに繋がる陸橋から格子模様の水郷駅（9時50分）を撮影してから、東関東自動車道を通り抜け、香取駅に向う。香取駅（10時45分）は成田回りと鹿島線との合流駅にもかかわらず、何故か無人駅であった。駅に着く前に二つの標語（佐原市社会福祉協議会）のたて看板が目についた。ひとつは、「ほほえめば ほほえみ返る 人と人」、もうひとつは、「しあわせを ささえる柱は 思いやり」。人間として大切な行動規範の考え方が容易な言葉で表現されており、あらためて感動させられた。



※香取神宮



駅前で香取神宮の案内が目につき、2Km先の香取神宮を目指す。近隣住人に2回道を尋ね、やっとのことで待望の香取神宮に11時20分に辿り着くことができた。香取神宮は、紀元前の神武天皇時代に開基されたと伝えられる古社だけあり、門と本堂は威厳が漂い素晴らしい神社であった。本堂の前では神殿結婚をしたばかりのカップルが記念写真を撮

撮ろうとしている場面に運良く出くわすことができた。この神宮の前には、元禄 13 年造営の看板に加え、「天皇陛下・皇后陛下御拝記念植樹 平成 4 年 11 月 9 日」にも運良く巡り逢うことができた。

10 分間位、香取神宮を鑑賞後、佐原市内に向う。途中、伊能忠敬記念館（登録博物館）が道路標識にあり、この記念館を目指すこととする。12 時頃、利根川に続く水路である小野川沿いに伊能忠敬記念館と住まいがあった。住まいを散策後、記念館（入場料 500 円）に入る。伊能忠敬物語のアニメが目に入り、15 分程度足を止める。

※ 50 歳で江戸の天文方高橋至時（よしとき）先生 31 歳を尋ねる場面からスタートする。誤差の問題や確認作業に加え、根気強い天文観察の場面もあった。それから、幕府から蝦夷地の測量依頼があり、自分の私財を活用して、応じる場面もあった。最後に教訓となる呼びかけがあった。勉強には年なし。思いついた時が吉日である。大切なことは、早く自分のやりたいことを見つけることである。



※伊能忠敬館



※佐原駅、伊能忠敬記念館

30 分程度伊能忠敬記念館を散策後、この記念館と目と鼻の先の佐原駅を目指す。佐

原駅には12時45分到着する。この駅は、椎柴駅以来JR線進行方向に対し初めて左側となり、右側には駅への道はなかった。また、椎柴以降最も賑やかな駅前であった。しかし、残念ながら十字屋が不景気のあおりを受け、閉鎖に追い込まれていた。駅前の大衆食堂で昼食として天井を注文する。

今日は、道路とJR線が縄のように交じり合っていたので、佐原駅以降、6回程踏切を交差し、久住に向うこととなった。第1回目は、大戸駅の手前の森戸県道踏切（13時25分）で、この踏切を渡りJR線を左手側にする。新宿橋を越えて大戸駅（無人駅）に13時57分到着。この駅は、ホームのみに大戸という駅名があるだけで、改札口を見つけることができなかった。2回目は谷中県道踏切（14時25分）、3回目は郡県道踏切（15時3分）であった。JR線を左手にする郡県道踏切を渡り、まもなくJR線沿いに5分位歩いたところに、下総神崎（こうさき：15時8分着）があった。駅前の目と鼻の先には公園があった。



※大戸駅、下総神崎駅

15時47分第4回目の小松県道踏切を渡り、滑河（なめかわ）を目指す。16時半頃、ウォークマンの電池切れとなる。電池交換の際、CDを誤って地面に落としコントロール部分が空中分解する。必死に探し、ホルダーの部品を除き、運良く回収することができた。2m先の道路の方に部品は飛ばされていた。ウォーキングにはしばしば予期せぬ事態が発生する。これがウォーキングの醍醐味でもある。ここで、10分程度足止めとなる。今日は、残念ながらこれより、CDからラジオに切り替え、滑河に向う。下総町の陸橋を渡ったところに、300坪位の釣堀があり、数人の釣り人が余暇を楽しんでいた。まもなく進むと、滑河駅だった。16時55分に到着する。運良く、千葉行きがタイムリーにきた。しかし、テレビの情報によると、本日の日没は18時45分であり、太陽がまだまだ高かったため、当初の予定通り5.5Km先の久住駅を目指すこととする。滑河駅以降、利根水郷ラインから外れ、山道に差し掛かるので、滑河駅止まりにするか迷った挙句の選択であった。これまで、何回も苦い経験をしたからである。



※滑河駅

地図にある滑河県道踏切には17時5分到達する。心配した通り、観音前の交差点で左への道路が目に入り、直進すべきか左折すべきか迷わされた。それで、通行人と車のドライバーに聞くことにする。正解は直進であった。暫く行って確認のため、軽トラックに乗ったドライバーに聞いた。「2Km位直進したところに、久住駅への案内があるのでそこから左折すればわかりやすいですよ。」との説明であった。最初のドライバーから聞いた「閉鎖中のガソリンスタンド」に来たところで、直進すべきか左折すべきかを迷ったため、再度確認のため床屋の奥さんに聞いた。回答内容は、「どちらでも行ける」とのことであったが、「直進の方が分かり易い」と判断し、直進のコースを選んだ。途中、柏へ分岐の案内標識があり、地図でも自分の現在位置を把握でき、安堵した。朝電車の窓から見た目印「青い陸橋のような建物」が左手にあり、自分の位置の正しさを裏付けることができた。ほっとした。3回目の確認として、田の手入れを終えた主婦に「久住までどれくらい」と尋ねる。「まだまだ先ですよ」の回答であった。



※久住駅、久住駅への路（成田空港からの飛行機）

スカイウェイ CC が道路に沿ってあった。その先を行ったところに久住駅への案内が

あった。久住駅 18 時 18 分の電車が通り過ぎるのが見えた。久住駅近郊の上空では、夕方のためか、何機ものジャンボ機が着陸する光景を目にすることができた。18 時 27 分最後の踏切である飯岡踏切を渡った左手 100m 先に久住駅があった。18 時 35 分の到着であった。18 時 55 分の電車で家路に向う。自宅には 21 時 57 分に着く。本日の万歩計は 58,816 歩をマークした。今日は、通算 1,800Km を踏破すると同時に、香取神宮と伊能忠敬記念館にも足を伸ばすことができ、今年一番の充実感を味わうことができた。おまけに、プロ野球の方も、江藤の活躍で巨人が横浜に 4 - 2 (木佐貫 3 勝 2 敗) で逆転勝ちし、気分も上々であった。

第 3 節 7 月 5 日(土) : 久住～佐倉 晴れ

久住(10:30)～成田(13:10)～酒々井(15:00)～佐倉(16:45)

久住からの続きは、夏空の中、2003 年 7 月 5 日(土)となった。当初は成田＝我孫子間の 32.9Km を想定していたが、家内の都合で愛犬セブンの散歩を余儀なくされ、急遽今日のコース変更となった。朝 5 時 15 分に起床し、南林間 7 時 27 分の電車で千葉方面に向った。ダイヤを調べずに挑戦したので、御茶の水＝津田沼間で若干のロスをした。だが、千葉での乗り継ぎが割合順調に行き、15 分程度の待ち合わせで、9 時 43 分の銚子行きに乗ることができた。途中成田で、後ろ 4 両の電車を切り離れた。久住駅は無人駅の関係で、成田で切り離すタイミングをみて、車掌さんから切符を購入することとした。久住駅には 10 時 30 分に到着する。前回フィルム切れとなり、久住駅の写真を撮ることができなかった。それで、先ずこの駅の記念写真撮りが第 1 歩となった。



※成田駅、成田山新勝寺

今日のコースは一言でいえば、フラットではなく山岳コースであった。その関係で、成田までの 6.9Km、成田から酒々井までの 6.7Km、それから酒々井から佐倉までの 6.4Km のコース共に途中、小高い丘越えがあり、幹線道路を通ることを余儀なくされた。久住

駅から幹線道路、県道 161 号線、成田・滑河線への道はスムーズに進むことができた。この幹線道路にあるバス停の海老川入口を 11 時 5 分頃通過した。久住駅から約 30 分間、成田空港からジャンボ機が 4~5 分単位で頭上を通過していった。離陸する滑走路は 2 本ある感じであった。本日は 5 月 24 日の夕方と正反対で、一機の着陸するジャンボ機しか見ることができなかった。先日の久住駅踏破の時とは逆で、着陸に比べ離陸が多い場面に出くわした。

千葉には大きな川を見かけないが、宝田より 5 分位歩いたところに、国道 408 号線を遮って 1 級河川小橋川があった。この近郊で鶏をぎっしり詰め込んだ 3 台のトラックに出会う。12 時頃、真直ぐ行けば成田ニュータウン、左折すれば成田空港の交差点に差し掛かり、どちらの方向行くか迷い、地図を確認する。念のために、自動車関連の係員に確認をとる。聞いてよかった。近道を教えてもらった。そのお陰で、昨日から明日までの成田祇園祭に遭遇できた。地図ガイドにもこの時期に祇園祭がある旨が記載されていた。先ず、土屋地区のお神輿を写真に収めることができた。今日は祭りで成田・安食（あじき）線一帯祭り気分一色であった。紫の袈裟を着た坊さんにも会った。また、途中成田山参道への案内（400m）を運良く眼にし、散策する。成田山は初めてであったこともあり感激した。三重の塔が印象的であった。朝電車の窓からこの建物を確認することができた。加えて、成田祇園祭に来ることができ、二重の喜びを味わうことができた。このシリーズ、水郷の風景はもとより、香取神宮、鹿島神宮それから潮来、伊能忠敬館等成田線には見物すべき箇所がたくさんあり、観光という切り口からも非常に記憶に残るコースとなった。成田参道には、祇園祭も重なり沢山の見物客で賑わっていた。この参道にはうなぎ専門店が沢山あった。12 時 45 分、メインストリートから 5 m 位入った、「ラーメンばやし」と言う店で昼食を撮る。親子連れの外国人が来店し私の隣の席に座り、餃子を注文した光景が今でも強く残っている。



※成田山新勝寺



成田山新勝寺

昼食後、JR 成田駅を撮影する。この駅には総成 CC があり、数回来た経験があり懐かしく思えた。200m 位離れたところに京成成田駅も確認することができた。山越えて酒々井駅（しすい）には 15 時 5 分に到着する。



※酒々井駅

成田から佐倉にかけ、京成成田線が JR に平行してあり、ただこの間のどの駅も JR 線には繋がっておらず、顧客の利便性から不十分さを多いに感じた。酒々井の駅前には一橋ゼミナール、千葉銀行、それから京葉銀行が目についた。また、新しいマンションが建設されていた。酒々井から佐倉までの間で、昨年迷った「交差点」に差し掛かった時はリベンジへのこだわりが次第に沸いてきた。すなわち、左折千葉方面（51 号線）、直進佐倉市街（296 号線）、八千代方面の案内板を見かける交差点である。本日は迷うことなく直進する。この交差点から暫く行ったところに、本佐倉の交差点に差し掛かった時にも地図を確認することとする。念のために正しいことを確認するために通行人にも聞いてみた。佐倉駅には 16 時 45 分に着く。



※佐倉駅

本日ももち、銚子から根岸、成東、佐倉の「八街回り」に加え、椎柴、香取、成田、佐倉の「成田回り」を制覇することができた。同時に佐倉駅から鹿島神宮駅にかけての鹿島線も踏破することができた。本日の成果は営業距離で 20.0Km、万歩計で 41,760 歩だった。肉体面では充実した一日であった。一方、精神面では、鼻肩の巨人であるロスの頑張りが一歩たりなく、中日に 2 対 4 と敗れ、充実感に水を注ぐ一日でもあった。